

# 第1章 投資実践ノートは儲け続ける力をつけるための魔法のアイテム

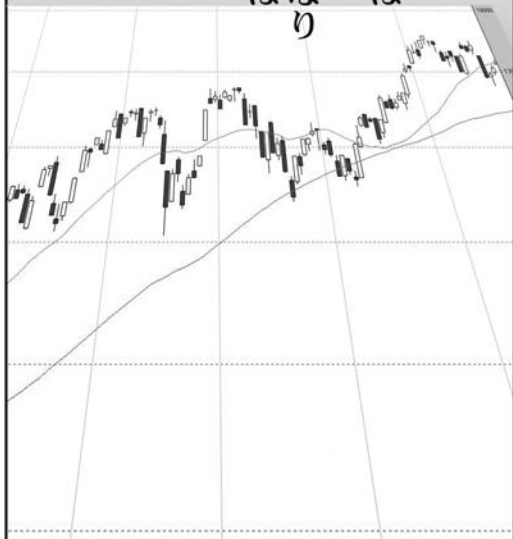
2005年は株式投資を資産形成の手段として取り入れた人にとってはうれしい相場環境であったといえます



1 相場環境が良くても儲けられるわけではない?

# 2005

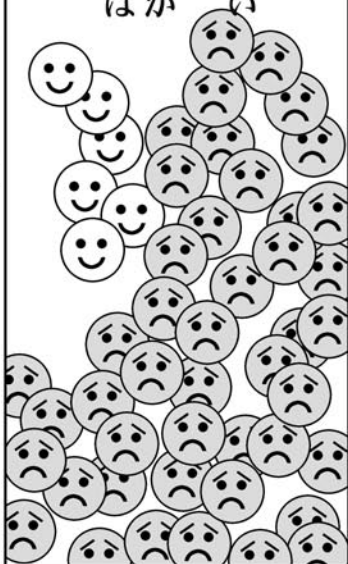
特に2005年年末には日経平均225は1万6245円になり2006年4月には1万7000円を突破して上昇し1万7563円にまでいきました



それに伴い個別銘柄も全体的に盛り上がりました  
 極論するならば「買えば儲かる」  
 ような状況が作られていたわけです



しかし  
雑誌などを読むと  
これだけ儲けやすい  
環境にありながら  
実際に儲けることが  
できた個人投資家は  
10〜20%程度  
だったとか：



ぼくも  
儲けられません  
でした：  
鉄鋼株とか船株とか  
もうこんな  
上がったんだから  
これから乗るのは  
危険だと思っ  
ていたら  
上がる上がる：



ただ指を  
くわえて  
見ているだけで  
ほとんど悔しいです



そうですねえ  
鉄鋼株みたいな  
超重量級の大型株が  
木の葉のように  
軽くなつて暴騰  
しましたからねえ

か！  
軽い！

多くの人は  
うまく儲けの波に  
乗れなかつた  
ようです

鉄鋼株





だーれが  
やめるか  
絶対やめない！



ほんとに：  
あの相場で  
儲けられなかった  
人は株やめたほうが  
いいわウフフ



勉強しているのに  
ちつとも儲からない

売れている  
ということは  
皆さん本を買って  
勉強している  
というわけです  
それなのに  
何故世間には  
勝てない  
儲けられない  
投資家が多いので  
しょう



株ブームを反映してか  
2006年現在  
ちまたには短期間に  
株式投資で1億円とか  
2億円を稼いだ優れた  
投資家たちの本が  
溢れています  
また  
これが大変よく  
売れています

# 21000万円以上の損…私も稼げない投資家でした

私は21年間ほど  
株式投資を実践  
してきました



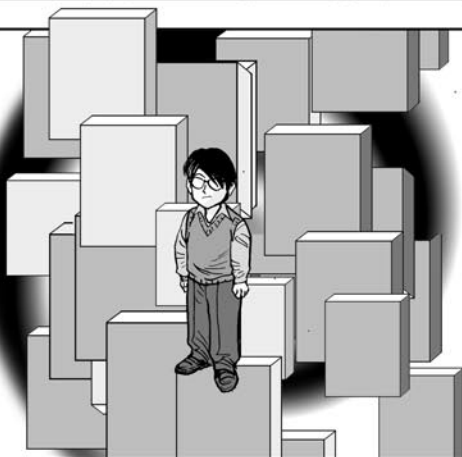
今でこそ勝てる  
ようになりましたが  
始めた当初から  
毎年毎年利益を  
残せたわけでは  
ありません

毎年コンスタントに  
プラスの成績を  
残せるように  
なったのは8年前  
くらいからです

1985年1月に  
初めて東芝の株を  
買ったとき  
最初はビギナーズ  
ラックで稼ぐことが  
できましたが

その後は儲けたり  
損したりの繰り返しで  
安定的に利益を  
上げられる投資家  
ではありませんでした

もちろん  
株式投資の本を  
たくさん  
かつよく読んで  
勉強はしていましたよ



200冊以上の  
本を読んだでしょう  
でもなかなか稼げる  
投資家に成長する  
ことはできな  
かったのです

あるとき

そんな私にも  
転機が訪れました  
それは決して  
良い転機では  
ありませんでした

少なくとも  
そのときは  
そう思っ  
ていまし  
ました

1年間に  
1000万円以上  
損をするという  
手痛い失敗を  
やらかしたからです

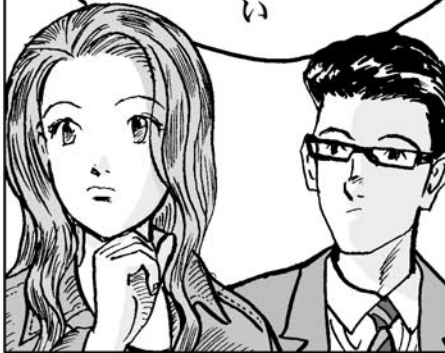
1000万円  
がーん!



ははは  
確かに今だから  
笑って言えるって  
こともありますが  
すばらしい経験  
だったのです  
なぜなら  
その後安定的に  
利益を出し  
続けられる  
投資家に成長  
できたからです



1000万円以上  
という大きな損を  
どうやって取り返せば  
いいのか：  
自分自身に真剣に向き合い  
本気になり  
それまで以上に  
株式投資に力を注いで  
自分の投資力を鍛える  
ことができたからです



### 3 自分を見つめ直してからは成績が安定

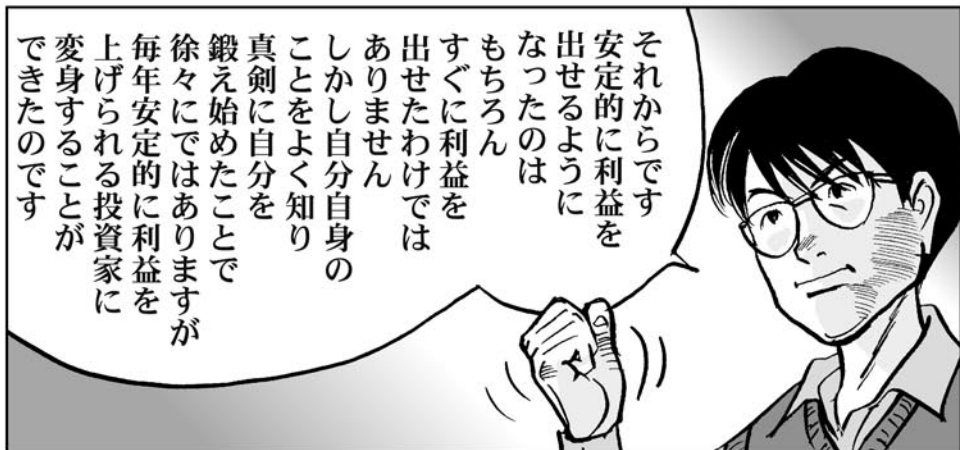
優秀な  
投資家の多くは  
「日々の記録」を  
つけているという話を  
聞いたことがあります

記録



今日はいくら  
儲かったのか  
いくらの損失を出して  
しまったのか  
どの銘柄を買ったのか  
売ったのか：  
買った理由は何か  
売った理由は何か  
などについては  
もちろんのこと





## 4 “儲け力”を養う道具が投資実践ノートです

孫子の兵法書にある  
「敵を知り己を知らば  
百戦危うからず」と  
「不知彼 不知己  
每戦必敗（＝相手も  
自己も知らなければ  
必ず負ける）」を  
忘れないでください  
勝つためには  
敵を知るだけでは  
足りないのです  
自分自身のことも  
よく知らなければ  
ならないのです

特に株式投資においては  
孫子が言うように  
自分のことを把握しない  
限りは安定的に儲ける  
ことはできないでしょう  
さてここからが  
本題です



# 孫子の兵法





これから  
株式投資で儲けたいと  
思うのであれば  
儲け続けたいと  
思うのであれば  
ぜひ自分の投資活動を  
記録してください



そして  
記録したことを参考に  
「何をすればいいのかな」  
「何をすればいいのかな」  
といったあなただけの  
ノウハウ集を築き上げて  
ください



それは明日の  
あなたの役に立つ  
ものだと確信して  
います

己を知り  
オリジナルノウハウ集を  
作ることであなたの  
“儲け力”をアップ  
させていきましょう



はい  
それについて  
これから詳しく  
お話してい  
きます



あとう…  
何を記録すれば  
いいのでしょうか

# 株式市場における敵とは？己とは？



将棋や囲碁などの  
世界でも戦う相手は  
わかっています

プロの世界では  
実力がわかっている  
相手と戦います



プロと素人との  
真剣試合が  
組まれることは  
まずありません



アマチュアスポーツの  
世界では実力差の  
大きい対戦相手に  
当たることがありますが  
それでも相手の実力は  
おおよそ想像が付きま



しかし  
株式投資では  
そうはいきません  
競い合う相手  
(投資家)が  
見えないのです

世界チャンピオン  
クラスのトッププロが  
相手かもしれない



しかし  
よく考えると  
自分が株を買いたいと  
思ったとき  
売ってくれるのは  
市場の自分以外の  
参加者であることも  
わかります  
あの人から  
買いたいとか  
この人から買いたい  
というのでは  
ないはず

